

神戸市立
小磯記念美術館
マンスリーコンサート
～絵と音の共演～特別編
in 神戸文化ホール

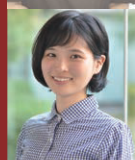
小磯記念美術館学芸員と音楽プロデューサーによるトークショー&コンサート



廣田生馬



高橋佳苗



多田羅珠希



南出卓



鷺尾有香



新林れん



小磯良平《幼な子イエスとヨハネ》
1959年 頌栄短期大学歳



小磯良平《森》1965-1974年



小磯良平《踊り子》
1940年頃



小磯良平《洋和服の二人》
1933-1934年頃

※会場での作品展示はございません。
レプリカを使用しているトークショーとなります。

トークショー

小磯良平と神戸の暮らし～意外と身近な芸術に触れる～
小磯記念美術館学芸員 廣田生馬・高橋佳苗・多田羅珠希

コンサート

ヴィドール：組曲
ゴッパール：ノクターンとアレグロスケルツェンド
ドビュッシー：月の光
フォーレ：シシリエンヌ
Epicus Flute Duo & Ensemble 鷺尾有香（フルート）
新林れん（ピアノ）
ナビゲーター：小磯記念美術館マンスリーコンサート
総合プロデューサー 南出卓

2019年3月9日（土）

14:00 開演 13:30 開場

会場：神戸文化ホール 大ホールロビー

チケット：前売り 500円（当日 200円UP）

お問合せ：神戸文化ホールプレイガイド 078-351-3349

主催：（公財）神戸市民文化振興財団

共催：神戸市立小磯記念美術館

企画制作：Music Inc. <http://ascor.jp>

<http://KoisoConcert.com>

小磯良平の作品を『美術』と『音楽』の視点から読み解く、 学芸員と音楽プロデューサーによるトークショーと クラシック音楽の生演奏 ～絵と音の共演～

小磯記念美術館マンスリーコンサート～絵と音の共演～では、美術館に展示中の小磯良平作品を毎月1点選び、小磯記念美術館学芸員の廣田生馬・高橋佳苗・多田羅珠希による作品解説や歴史的背景、小磯良平にまつわる話と、音楽プロデューサー南出卓による音楽的観点から見た作品への印象や関連性をトークショー形式で行いコンサートの曲目に結び付けるトークショー&コンサートです。

この度 KOBE ミュージックポート～冬の音楽祭の一環として、小磯記念美術館マンスリーコンサート特別編を神戸文化ホールで開催。小磯記念美術館の学芸員3名とマンスリーコンサート総合プロデューサーが一堂に出演する豪華トークショー。そして2017年に開催された神戸国際フルート音楽祭の広報アンバサダーEpicus Flute Duo & Ensembleメンバーによるフルート&ピアノコンサートをお届けします。

※整備工事のため、小磯記念美術館は2019年5月頃(予定)まで休館中です。



出演者



Epicus Flute Duo & Ensemble
鷺尾有香(フルート)

大阪市出身。大阪私立プール学院高等学校、同志社女子大学学芸学部音楽学科卒業、大阪教育大学大学院芸術文化専攻音楽表現コース修了。2015年よりEpicus Flute Duo & Ensembleメンバーとして本格的な演奏活動を開始する。2017年神戸

国際フルート音楽祭ではEpicus Flute Duo & Ensemble選抜メンバーとして音楽祭広報アンバサダーに就任。演奏を通じた音楽祭・コンクールのPRを神戸市内で行った。

Epicusオフィシャルサイト<http://Epicus.jp>



廣田生馬
神戸市立小磯記念美術館学芸係長

神戸、京都に育つ。1989年、関西学院大学文学部を卒業。1989-90年、美術研究のため渡仏。その後、関学に戻り、大学院文学研究科に学ぶ(博士課程後期中退)。専門はフランスおよび日本の近代美術史。1992年の開館年より小磯記念美術館に勤め、現在に至る(うち3年間は市立博物館で西洋美術展などを担当)。その間、「黒田清輝展」、「マリイ・ローラン展」などを担当。監修に『花美術館 Vol.16 特集小磯良平』(蒼海出版)など。



新林れん(ピアノ)

大阪音楽大学音楽学部器楽学科ピアノ専攻卒業。同時に奨学制度「卒業時褒賞」により優秀賞受賞。同大学卒業演奏会、京都音楽家クラブ新人演奏会に出演。2015年、2016年のさかいクラシックにて「フィガロの結婚」や「コジ・ファン・トゥッテ」の伴奏ピアニストを務めるなど、関西を中心にピアノノロのみ

ならず、器楽、声楽のアンサンブルピアニストとしてコンクールやオーディション、様々な演奏会に出演している。これまでに雨田万由美、横井政子の各氏に師事。堺シティオペラ音楽スタッフ。



高橋佳苗
神戸市立小磯記念美術館学芸員

北海道・札幌に育つ。2013年、山形大学人文学部人間文化学科を卒業。2015年、北海道大学大学院文学研究科を修了。専門は日本近・現代美術史。2015年4月から神戸市立小磯記念美術館に勤務。当館では、「野田弘志展」(2015年)、「描かれた花々」(2016年)、「来て、見て、楽しむ!小磯良平ベストコレクション」(2017年)などの特別展を担当。2018年には特別展「浜口陽三と南佳子展—ふしぎな世界への小さな窓—」を担当。



南出卓
クリエイティブコンサルタント
音楽プロデューサー

神戸に生まれる。13歳で渡英、英国王立ウェールズ音楽演劇大学を卒業。在学中よりコンサートの企画出演や室内楽グループのプロデュース、舞台音楽の作曲などでイギリス国内をはじめヨーロッパ各地で公演を開催。2005年に拠点をアジアに移しインド交響楽団の設立や西カザフスタンフィルハーモニー管弦楽団の運営、日本国内の国際音楽祭やコンクール、公演の企画制作運営を行う。そのほか英国王立ウェールズ音楽演劇大学のマーケティング部の首席顧問、英国王立ノーザン音楽院日本・韓国代表等、音楽教育機関でも幅広く活躍してきた。

2007年に女子弦楽四重奏団Bloom Quartetを結成。2年後女子弦楽アンサンブルBloom Quartet & Ensembleのプロデューサー兼芸術監督に就任。2011年東日本大震災をうけ「東北子どもオーケストラ」を企画、福島県郡山市に「東北子どもオーケストラin郡山」を結成、音楽監督に就任。

2015年に神戸でEpicusフルートデュオ&アンサンブル、そして神戸フルートソサエティを発足。2016年より神戸市立小磯記念美術館マンスリーコンサートの総合プロデュースを担当。神戸国際フルート音楽祭(2017)ではプロデュースしているEpicusフルートデュオ&アンサンブルが音楽祭広報アンバサダーに就任。同年よりこうべ文化まちのコンサート、神戸旧居留地Premium Classical Concertの総合プロデュース、2018年からは旧居留地はいからプロジェクトのコンサートのプロデュースを始める。東京と神戸を拠点に年間40を超えるコンサートやイベントの企画、アーティストのプロデュースを行っている。

オフィシャルサイト：<http://ascor.jp>
フェイスブック：<http://www.facebook.com/ascor.jp>



多田羅珠希
神戸市立小磯記念美術館学芸員

香川県・坂出市で育つ。大阪大学文学部人文学科を経て、2018年、同大学大学院文学研究科を修了。西洋美術史研究室に所属し、卒業・修士論文では、19世紀イタリアで美術革新を試みた芸術家たち「マッキアイオーリ」を研究対象とした。6年間、大阪茨木市に住む。2018年4月から神戸市立

小磯記念美術館に勤務。特別展「没後30年小磯良平展—西洋への憧れと挑戦—」を担当。



公演終演後の特別企画

小磯記念美術館学芸員による大ホールの小磯良平原画による緞帳《舞台の上の出演者》のツアー開催

※ツアー参加費用はコンサートチケット料金に含まれています。

神戸市立小磯記念美術館
マンスリーコンサート
～絵と音の共演～ 特別編
in 神戸文化ホール

主催：(公財)神戸市民文化振興財団
共催：神戸市立小磯記念美術館
お問合せ：神戸文化ホールプレイガイド 078-351-3349
企画制作：Music Inc. <http://ascor.jp>
詳細 <http://KoisoConcert.com>